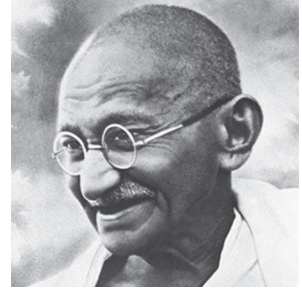




マハトマ・ガンジー (1869-1948年)

モHANDAS・KARAMCHAND・GANDHIは、20世紀の最も偉大な政治的・精神的指導者のひとりとして広く称賛されています。インドでは「国の父」と尊敬されるガンジーは、「サティヤーグラハ」と呼ばれる、民衆の非暴力・不服従による圧制への抵抗運動を初めて提唱し、実践しました。ガンジーは、貧困の緩和、女性の権利拡大、宗教間・人種間の融和、不当なカースト制度の廃止などを提唱する全国的な運動を主導しながら、インドを植民地支配から解放するために非暴力・不服従の原則を徹底的に実行しました。ガンジーはその活動のために何度も投獄され、時には何年も拘禁されましたが、1947年にインドはイギリスからの独立を勝ち取り、ガンジーはその目標を達成したのです。その声望の高さにより、ガンジーは「偉大な魂」を意味する「マハトマ」と呼ばれています。マーティン・ルーサー・キングからネルソン・マンデラに至るまでの世界的な公民権指導者たちは、人民のために平等な権利を実現させる戦いにおいて、ガンジーをお手本にしてきたと認めています。



56

「希望を失って落ち込んだ時、私は真実と愛によるやり方が歴史を通じて常に勝利してきたことを思い出す。さまざまな暴君、そして殺人者がいた。一時的には、彼らは全く無敵であるように見える。しかし最後には、彼らは常に滅びる。それを忘れないでほしい。必ず滅びるのだ。」

マハトマ・ガンジー